

授乳中のお薬についてのQ&A

Q) カゼやケガで抗生剤（ばい菌をやっつける薬）を飲んだけど大丈夫？

A) ほとんどの抗生物質（ばい菌をやっつける薬）は、母乳への移行はごくわずかなので、心配ありません。長期間、大量に服用しなければ問題ありません。

Q) 歯医者で、麻酔や化膿止めを使ったけど大丈夫？

A) どちらも母乳への移行はごくわずかなので、心配ありません。歯を抜いたり虫歯の治療で使う麻酔は局所麻酔なので、母乳へ移行する可能性は少なく、移行してもとても少量であるため心配ありません。

また、化膿止めも前述の抗生物質（ばい菌をやっつける薬）のように問題ありません。

Q) 痛み止めに飲んでも大丈夫？

A) 母乳への移行はごくわずかなので、心配ありません。ただし、使う回数が多かったり、痛み止めに飲んでもあまり効果がない時は再度受診しましょう。

Q) 花粉症でアレルギーのお薬を使っても大丈夫？

A) 短期使用は母乳への移行はごくわずかなので、心配ありません。アレルギーのお薬の中には、眠気が出てしまうものもあるため、眠気が出てくる場合は別のお薬への変更を医師と相談しましょう。

また、花粉症で使う目薬、点鼻薬は体の一部（体の外側）に効果のあるお薬ですので、問題ありません。

Q) 胃薬・整腸剤や下剤を飲んでも大丈夫？

A) どちらも母乳への移行はごくわずかなので、心配ありません。



Q) インフルエンザの薬は使っても大丈夫？

A) 母乳への移行はごくわずかなので、心配ありません。お薬を正しく使い、早く治す事が大事です。インフルエンザのワクチン接種も、心配ありません。

Q) 飲み薬以外は使っても大丈夫？

A) 飲み薬以外には、目薬、吸入薬、塗り薬、湿布薬等があります。これらは大部分が体の一部（体の外側）に効果のあるお薬です。母乳へ移行してもごくわずかなので大丈夫です。ただし、全身に塗るような場合やはじめてもらうお薬は医師や薬剤師に授乳中という事を相談しましょう。

いずれも、赤ちゃんの口に入らないように注意は必要です

Q) 「授乳中です」と伝えてもらったお薬は、最後まで飲み切らないとダメ？

A) 勝手に判断せずに、医師や薬剤師に相談して下さい。母乳への影響を気にして自己判断でお薬を調節してしまうと、症状が悪化したり、こじらせる原因となってしまう、かえって服用回数が増えてしまう事もあります。ただし、頭痛や咳の症状がお薬を飲み切る前におさまったら、服用をやめても良いケースもあるので、お薬を貰う時に確認すると良いでしょう。

Q) お薬を飲む時は、いったん授乳を止めていたけど再開できる？

A) 大丈夫です。医師から授乳を止めるように言われた期間をすぎれば、授乳を再開できます。ただし、止めている間も、乳首やおっぱい全体を無理のない程度にマッサージしたり、少ししぼって乳腺が詰まらないようにしておきましょう。

お薬は正しい使い方をすれば授乳と両立できるものがほとんどです。

